

平成 29 年 11 月



IFTAミラノ大会のスピーチを終えて

毎年恒例の IFTA (国際テクニカルアナリスト連盟) 大会がイタリア・ミラノで 10/13 (金)~10/15 (日) までの 3 日間で開催されました。

大会テーマは「Sailing to the future (未来への出航)」。今、世界のプレゼンテーションは様変わりしています。以前のように、独自手法やトレーディング手法、市場分析といえるものは稀少で、AI (人工知能)、ロボット、行動経済学、ビットコイン、ブロックチェーンに関するテーマが大半を占めていたようです。日本からも 3 人の若手スピーカーが最新のテクニックや研究成果を世界に向けて発信し、大活躍の場となりました。以下は、スピーチを終えたあとの簡単なコメントです！

※ なお、各スピーカーのプレゼン内容はジャーナルに掲載されますので、乞うご期待ください。





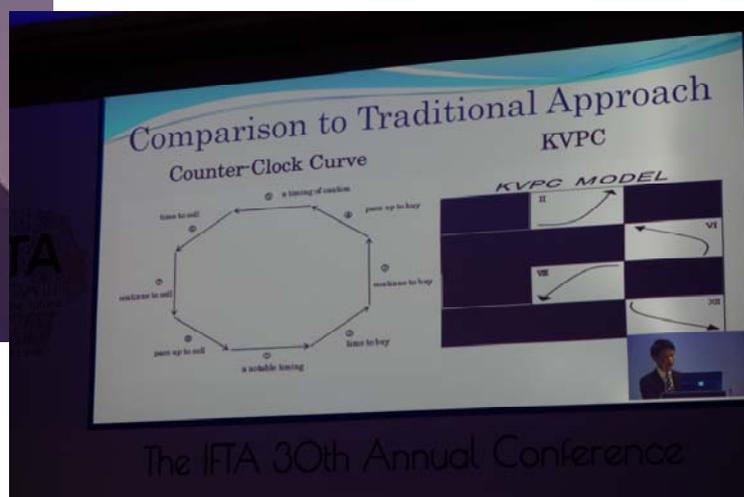
非常に良い経験になりました。前回に続いて今回は“SKURT(skew×kurt)”という新しいテクニカル指標の提案を行いました。終了後にたくさんの方からコメントをもらい、研究を深掘して個人投資家目線での長期投資指標を作り出したいというモチベーションになりました。ガラパーティで着物を着たので、大変喜んでもらえました。ミラノで日本文化を紹介でき良かったです。右下の写真はエリオット波動理論のプレクター夫妻と NTAA 戸部理事長です。

(西村三養子)





12 October - Kick Off
13-15 October - Conference



今回初めて IFTA 大会に参加した野澤光希です。教科書でしか見たことのない方々と同じ壇上でスピーチするやら、今まで一度も行ったことのない欧州に行くやらで、出発前は不安し



かありませんでした。そうした中、いざイタリア大会でのスピーチを終えると多くの海外の方々から熱心な質問を受けたり、自分が考えてもいなかったアイデアを頂けたりと、とても有意義な時間を過ごせて今は達成感に満たされています。

このような貴重な経験をさせていただいた IFTA ならびに NTAA の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(野澤光希)



非常に楽しく発表できました。発表前日は午前 1 時まで全体パーティーと授賞式があり、そして朝 9 時半から本発表というハードスケジュールにもかかわらず、大勢の方にご参加頂き感激しました。お酒の余韻で会場がスカスカかもと恐れていましたが心配無用でした。

また、ジョン・ブルークス賞についても皆さんにお祝いして頂き、大変貴重な時間を過ごすことができました。

IFTA および NTAA の皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。(鈴木智也)

